

ぽっかぽか



R6. 10. 18

園長だより NO.3

富士市立天間幼稚園



天気が心配でしたが、どうにか明日は運動会ができるかなと思っています。それぞれの学年の「今」のねらいに向けて、日々の遊びの中で取り組んでいるものをお家の人に見てもらいたい機会となりますように…。子どもたちの様子をお知らせします。

(年少3歳児) ちゅうりっぷ組

ねらい「教師や友達と一緒に遊ぶ楽しさを知る」



よーいドン!の合図でかけっこすることがとにかく楽しいようです。繰り返し遊ぶ中で、最初はみんな思い思いに走り出していた子どもたちも、友達の後ろに並んで「順番を待つ」ことができるようになりました。

初めての経験ばかりですが、「みんなといるとなんだか楽しいな」をたくさん味わえるように接しています。

先生のまねっこをして踊っています。「見て まねる」「模倣する」ことができるようになるのも、学習につながる第一歩ですね。年少の頃から、幼児期の遊びの中には、学習の基礎がたくさんつまっています。



(年中4歳児) ばら組

ねらい「いろいろな遊びに興味をもち、自分から取り組もうとする」



一本橋をよじ登ることは、手の力も足の力も使います。バランスよく、体を動かせるようになってくる時期です。友達と動きを合わせて進んだり、年長さんから刺激を受けてバトンリレーや固定遊具にも繰り返し挑戦したりしています。まだまだ、個人の差が大きいのも、年中児の特徴です。体を動かして遊ぼうとする姿を、運動会が終わった後も繰り返し認めていきながら、今後も引き続き、体作りをしていきますね。



「よいしょよいしょ。」友達と力を合わせて片付けることもとても上手になってきたばら組さん。1学期から、アイドルのコンサート会場の場を用意したり、片付けたり…自分たちでやっていました。そんな姿が、外遊びの準備や片付けでも生きている姿が見られました。もちろん、大好きな踊りは、みんないつも張り切っています！

（年長 5 歳児）すみれ組

ねらい「友達と刺激し合い、自分なりに工夫したり挑戦したりする」

年長のこの時期になると、「目標をもって」物事に取り組めるようになってきます。遊んだことを毎日振り返りながら、「明日はこうしてみよう。」という気持ちを持てるように園では関わっています。積み重ねの中で、「試す」「工夫する」「挑戦する」気持ちが培われます。自分でやってみて得た経験は、力となり、自信につながっていきます。友達と話す場を積み重ねることで、「人の話を聞く」「相手に伝えるように話す」ことも大切であることに気付いていきます。幼児教育の中に、「学びの基礎」がたくさん含まれています。まだまだ、発展途上の子どもたちですが、毎日の園生活の積み重ねの上に、今の子ども達の姿があることを感じ取っていただけたら幸いです。



踊りの隊形がいろいろに変化します。「違うよ！〇〇くんはこっちだよ！」「もっと広がって！」繰り返し踊る中で、子どもたち同士で声を掛け合いながらやりとりする姿が、たくさんみられました。



「みて！上まで登れたよ！！」と登り棒の上から嬉しそうに声をあげて教えてくれる子たち…。
競技の中に、固定遊具をやる場合があります。今までも遊んできた子、運動会をきっかけに、頑張ろうと挑戦する気持ちを持つ子、表れは様々です。自分の力を発揮できますように…。

バトンリレーは、最初はニコニコとみんな笑顔で走っていましたが、最近では「勝ち」「負け」の勝負に気合が入ってきて、真剣な表情で一生懸命走るようになってきました。負けると悔しくて泣く子もいます。子どもたちが精一杯力を出そうとする姿に、応援する側も心をゆすぶられます。



「ぼっかぼか」（縦割りグループ）とのかかわり



「ぼっかぼか」のグループで玉入れをしています。年少、年中、年長入り乱れて遊びますが、笛の合図で座ったりするルールは、年上のお兄さんお姉さんが、下の子たちに教えてくれました。1学期から関わっているので、年少さんも、自分のお兄さんお姉さんの名前を覚え、呼んでいます。
その他の競技の時にも、自分のお兄さん、お姉さんを応援する姿も見られるようになって、親しみの気持ちが育ってきたなと感じています。

運動会は一日だけの開催ですが、幼稚園の生活の中では、いろいろなドラマが繰り広げられています。時には、友達ともめたり、うまくいかなかったり、やる気がおきなかったりする時もあります。どれも大切な経験です。

この経験が、また、次の活動や遊びにつながっていきます。温かな応援、よろしく願います。

